

CICS Transaction Server for z/OS



CICS TS for z/OS のアップグレード

バージョン 5 リリース 5

コマンドおよびリソースのセキュリティ検査の拡張による影響の確認

CMDSEC(YES) が CICS 領域に指定されている場合は、コマンド・セキュリティが適用されます。RESSEC(YES) が CICS 領域に指定されている場合は、リソース・セキュリティが適用されます。CICS の各リリースでは、コマンド・セキュリティ検査とリソース・セキュリティ検査の対象となるリソース・タイプ、そのリソース ID、および関連するコマンドが拡張されています。変更されているリソースとコマンドを確認してください。

All Versions

アプリケーション・エントリー・ポイントとして使用されるプログラムの設定の確認

XPPT=YES を設定してプログラム・セキュリティを使用している場合は、アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言しているすべてのプログラムのセキュリティ設定を確認してください。さまざまなプラットフォームにデプロイされるアプリケーションについて、セキュリティ対策を個々の PROGRAM リソースに適用する場合、アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されているプログラムは保護しますが、そのアプリケーション内の他のプログラムは保護しないようにしてください。

あるプラットフォーム上にデプロイされるアプリケーションの一部を構成するプログラムについて指定するセキュリティ設定値は、パブリックなプログラムとプライベートなプログラムの両方に適用されます。アプリケーションのバージョンは考慮されません。アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されるプログラムには、使用環境内で固有の PROGRAM リソース名が必要です。しかし、そのアプリケーションの下位レベルで実行されるプログラムを保護すると、別のアプリケーションで同じ名前のプログラムが実行されている可能性があり、その場合、予期しない結果になる可能性があります。この場合、アプリケーション・エントリー・ポイントとして宣言されているプログラムについてはアクセス権限がユーザーに付与されている一方、そのプログラム名の別のインスタンスによるセキュリティ設定が有効になっているために、アプリケーションの下位レベルで実行されるプログラムにはアクセスする許可がないということがあり得ます。アプリケーション・エントリー・ポイント・プログラムとして宣言されているプログラムに適用するセキュリティ対策としては、アプリケーション全体に適用されるものを考慮してください。

All Versions

新しい RACF カテゴリー 1 トランザクションを ESM に定義する

カテゴリー 1 トランザクションには、いくつかの CICS 内部システム・トランザクションが含まれます。これらのトランザクションを外部セキュリティ・マネージャーに定義して、CICS 領域ユーザー ID にそれらの使用を許可する必要があります。こうすることで、セキュリティが有効な状態 (SEC=YES) で実行される CICS を正常に初期設定できます。カテゴリー 1 である CICS トランザクションのリストについては、提供されるすべてのトランザクションおよび関連するセキュリティ・カテゴリーを参照してください。

CICS Explorer の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

